

自家産の食材を使い 愛情込めた食品加工

渡辺 美保子さん（35歳）

胆沢区小山字斉藤



自家産のブルーベリーを使ったシフォンケーキは年間を通して産直に並ぶ

胆沢区小山の田園の中にある「ベリー工房」。代表の渡辺美保子さんは、子育ての傍ら自宅の工房を拠点とし、食品加工や菓子作りを手掛ける。製品はジャムやプリン、ケーキなどさまざま。この季節「南部一郎」というカボチャを使ったプリンや、シヨウガを使った菓子作りに精を出す。結婚するまで、生まれ育った愛知県豊橋市から離れることはなかった。夫・壮さんと出会いは大学時代。卒業後も豊橋市内の家具店に勤めながら、岩手に帰郷した壮さんと、距離の隔たりを乗り越えて愛を育み、平成13年に結婚。渡辺家の一員となった。

「自家産のものを使うので、安全で安心です」と胸を張る美保子さんは、家族が思いを込めて生産した食材に、手作りで愛情を注ぎ続ける。子育てが落ち着いたら、さらに販路を拡大したいと夢は膨らむ。に、いつしかこの道にのめり込んでいった。常に作業を一緒に行い、義母のレシピを習得。7年前には、自宅敷地内に義父の手によって工房を構えた。食材に自家産の野菜や果物を使う、まさに家族ぐるみの経営。「家族にとっても感謝しています」と語る美保子さん。製品は主に「産直いさわあぐりキッズ」で販売。「知人が全くいない土地で不安だった。産直に関わるようになり、地域の人のつながりができた」と笑顔で語る。



わたなべ・みほ◎昭和52年愛知県豊橋市生まれ。主婦業と自宅に構えるberry工房の代表を両立。家族は夫と長女、長男、二女、義父母、義祖母、そして愛犬（アン）

CONTENTS

- 2 情熱の奥州人
- 4 特集 除染結果と仮置き場の設置について
- 8 平成 24 年度 成人式グラフ
- 9 第 5 回 奥州市民☆文士劇「元禄花舞台」グラフ
- 10 I L C 希望のひかり
- 12 市地域包括支援センターからのお知らせ
ピアノコンクールで見事金賞
- 13 結 - ゆい - ~ 30 の地区振興会による協働のまちづくり実践事例 ~ 「白山地区振興会」
- 14 市の出来事から
- 16 まちの話題
- 18 つながれ 広がれ N P O の輪
- 20 子そだて広場
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 21 地域安全情報
わが家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 22 キラリ人輝く
夢トーク
- 23 クラブ紹介「南都田中学
校サッカー部」
ぼんたのつぶやき
- 24 暮らしの情報
- 28 奥州遺産
「四季耕作図絵馬」(前沢区)

〈今月の表紙〉



雪のうんどうかい(衣里・北股・前沢の各振興会・南股地区会主催)が2月3日、衣川区の国見平スキー場で開催され、衣川・前沢両区の子どもたち42人が参加しました。

写真は「人力ばんば」での一コマです。そこに幼児を乗せ児童2人が引いて走るもので、3チームに分かれて競技。そりから振り落とされるハプニングもあり、子どもたちの元気な声と観客の笑い声がゲレンデに響きました。